長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
衛生管理（衛生管理技術）	○		2年	1/30	○					衛生管理教員資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験の有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　衛生管理研修課程修了

作業で数多いお客様の中には、いろいろな感染症を	平常点（3割）（ノート提出・小テスト・授業態度）
持つ人がいることもあり、そのためにいつも適切な消毒を	
行い病気を未然に防げるよう、美容所において用いられる	
代表的な消毒法等について正しい取扱い等を身に付けさせる	

使用教材・教具	参考文献
教科書・ノート	
美容師法に基づいた消毒薬・器具・メスシリンダー、バット	
ビーカー、攪拌棒など	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1～3	講義	1節　消毒とは　病原微生物と非病原微生物　及び消毒の原理
		2節　消毒の意義　1　汚染、感染、発病と消毒の意義　2　殺菌、消毒、滅菌、防腐の定義
		3節　理容・美容の業務と消毒の関係
4～6	講義	美容師法に基づいた消毒の方法を説明
		4節　消毒法と適用上の注意　理容師・美容師の責任
		2章　消毒法各論　P148～
		理学的消毒法、消毒に必要な条件など
7～9	講義	化学的消毒法、消毒に必要な条件など　薬品の現物を見せる
		微生物の抵抗力、消毒薬、消毒液の使用、保存上の注意
		紫外線消毒法について
		煮沸、蒸気消毒について
10～12	講義	アルコール類について特徴等
		次亜塩素酸ナトリウについて
		界面活性剤について
13～15	講義	グルコン酸クロルヘキシジンについて
		その他の消毒薬（家庭用常備薬）について
		すぐれた消毒法の条件、消毒を行う際の注意事項
		理学的消毒法と化学的消毒法の消毒時間、特徴などのまとめプリント記入
16～18	講義	消毒法別殺菌効果一覧表記入
		消毒薬のあらまし
		濃度の表し方
		器具の使い方・消毒薬希釈の仕方
19～21	講義	希釈法（逆性石けん水溶液・次亜塩酸ナトリウム・水溶液の調整法）
		〃　エタノールの希釈法
		消毒の原則、消毒設備、
22～24	講義	美容器具類の消毒方法
		美容で使用する器具類に対して適した消毒剤の選び方や消毒の際の注意
		美容室所の消毒設備
		美容器具の消毒法・消毒の前に、消毒の際の注意点、
		蒸し器、紫外線消毒器による消毒の注意点
		美容師の手指の消毒
25～27	講義	清掃
		各種消毒薬の希釈の仕方
		理学的消毒法と化学的消毒法の消毒時間、特徴などのまとめ小テスト
28～30	講義	パワーポイントでクイズ形式問題
		小テスト（過去問に挑戦）
		試験勉強

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
保健（皮膚科学）	○		2年	2/60	○					保健教員資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験の有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　美容保健研修課程修了

到達目標	成績評価の方法・基準
皮膚および皮膚付属器官の構造や機能、保健衛生など	定期試験（7割）
また疾患についての知識とその予防を理解する。	平常点（3割）
皮膚および皮膚付属器官の疾患につての知識と	
その予防について学習する。	

使用教材・教具	参考文献
パソコン	
プリント	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1～3	講義	第1章　皮膚の構造　・皮膚表面　・皮膚の断面　・表皮
4～5	講義	・表皮と真皮の境　・真皮　・皮下組織　・皮膚の部位差
6	小テスト	勉強・小テスト
7～12	講義	第2章　皮膚付属器官の構造　・毛　・脂腺
13～18	講義	〃　・汗腺　・爪
19	小テスト	勉強・小テスト
20～21	講義	第3章　皮膚の循環器系と神経系　・皮膚の血管　・皮膚のリンパ管　・皮膚の神経
22～14	講義	第4章　皮膚と皮膚付属器官の生理機能　・対外保護作用　・体温調節作用
25～27	講義	〃　・知覚作用と皮膚反射　・分泌排泄作用
28～29	講義	〃　・呼吸作用　・吸収作用　・貯蔵作用
		・免疫、解毒、排除作用　・再生作用　・毛のはたらき　・爪のはたらき
30	小テスト	勉強・小テスト
	定期試験	
31～33	講義	第5章　皮膚と皮膚付属器官の保健　・皮膚と全身状態　・皮膚と精神　・皮膚と栄養
34～36	講義	〃　・皮膚と嗜好品　・皮膚と体内病変　・皮膚の水分と脂の状態
37～38	講義	〃　・皮膚、付属器官とホルモン　・皮膚の保護と手入れ
		・毛の保護と手入れ　・爪の保護の手入れ
		・子どものおしゃれによる皮膚トラブル
39	小テスト	勉強・小テスト
40～41	講義	第6章　皮膚と皮膚属器官の疾患　・皮膚の異常とその種類　・皮膚疾患の原因　・皮膚疾患の治療法
42～44	講義	〃　・皮膚炎と湿疹、蕁麻疹、薬疹　・口唇の疾患
		・温熱、寒冷による皮膚障害
45～49	講義	〃　・角化異常による皮膚障害　・色素異常による皮膚疾患
		・血管腫　・脂腺母斑　・下肢静脈瘤
50～53	講義	〃　・分泌異常による皮膚疾患　・化膿菌による皮膚疾患
		・ウイルスによる皮膚疾患
54～56	講義	〃　・真菌による皮膚疾患　・衛生害虫による皮膚疾患
		・感染症の皮膚疾患
57～59	講義	〃　・毛と爪の疾患　・皮膚の腫瘍
60	小テスト	勉強・小テスト
	定期試験	

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
美容保健（人体の構造及び機能）	○		2年	1/30	○					保健教員資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験の有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　美容保健研修課程修了

到達目標	成績評価の方法・基準
美容技術の基礎となる人体について、人体の構造と機能に関	定期試験（7割）
する科学的、系統的な知識の習得を目的とする。また、美容の	平常点（3割）
確な科学的知識が必要不可欠であることを理解させる。	

使用教材・教具	参考文献
パソコン	
プリント	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1	講義	人体各部の名称
		頭部、顔部、頸部の体表解剖学
2～4	講義 小テスト	骨の種類と構造
		骨の連結
		骨格器系とそのはたらき
5～7	講義	筋の種類とその特徴
		主な骨格筋とそのはたらき
		表情筋と表情運動
8～11	講義 小テスト	神経系の成り立ち
		中枢神経とそのはたらき
		末梢神経とそのはたらき
12～16	講義	視覚
		聴覚
		平衡感覚
		味覚
		嗅覚
		皮膚感覚
17～22	講義	血液のあらまし
		免疫のあらまし
		血液の循環経路
		アレルギー
	講義 小テスト	心臓のあらまし
		血液循環の仕組み
		血液の循環経路
		リンパ管系の仕組みとはたらき
23～25	講義	呼吸器系のあらまし
		気道
		肺の仕組みとガス交換
		呼吸運動
26～30	講義 小テスト	消化器系のあらまし
		消化管の仕組み
		消化管のはたらき
		消化と物質代謝

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
文化論	○		2	2/60	○					文化論教員資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　文化論研修課程修了

到達目標	成績評価の方法・基準
前期：色彩検定3級合格。国家試験にむけて1年次に	定期試験（7割）
学修した教科の総復習を行う。	平常点（3割）
後期：現代のファッションや技術に至るまでの過程を	
知ることで新しいデザインを創造する力をつける	

使用教材・教具	参考文献
色彩検定公式テキスト3級、パソコン、プリント	
文化論教科書	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1～24	講義	色彩検定対策
25～27	講義	国家試験に頻出する内容について1年次に学修した課目の復習を行う。
28～30	講義	前期試験対策
		前期試験
31～33	講義	日本の理容業・美容業の歴史
		1．理容業・美容業の発生
		2．江戸時代の理容業・美容業
		3．近代の理容業・美容業
		4．現代の理容業・美容業
34～36	講義	ファッション文化史（日本編）
		6．近代（明治・大正・昭和20年まで）
		日本の理容業・美容業の歴史　小テスト
37～42	講義	7．現代Ⅰ（1945年～1950年代）
	小テスト	近代（明治・大正・昭和20年まで）
43～45	講義	8．現代Ⅱ（1960年代～1970年代）
	小テスト	現代Ⅰ（1945年～1950年代）
46～48	講義	9．現代Ⅲ（1980年代～1990年代）
	小テスト	現代Ⅱ（1960年代～1970年代）
49～51	講義	10．現代Ⅳ（2000年代以降）
	小テスト	現代Ⅲ（1980年代～1990年代）
52～54	講義	礼装の種類
	小テスト	現代Ⅳ（2000年代以降）
55～57	小テスト	礼装の種類
		総復習
58～60	講義	後期試験対策
		後期試験

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
美容理論Ⅱ	○		2年	1/30	○					技術理論教員資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　美容技術理論研修課程修了 色彩検定1級取得

到達目標	成績評価の方法・基準
配色の基礎・理論を理解し、色彩検定3級もしくは2級	定期試験（7割）
合格すること。	平常点（3割）

使用教材・教具	参考文献
色彩検定公式テキスト3級、パソコン、プリント	
色彩検定過去問	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1～3	講義	色のはたらき
		光と色
		色の表示
		カラーサークル作成
		色彩心理
4～6	講義	色彩調和
		色彩効果
		色彩と生活
		ファッション
		インテリア
		慣用色名
		総復習
7～30	講義	模擬試験（過去問）
		2級受験希望者は、3級受験希望者が過去問を解いている間に2級対策テキストの
		重要箇所の説明をする。
	試験	定期試験
	検定	色彩検定

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
美容理論Ⅱ	○		2年	1/30	○					技術理論教員 資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　美容理論2研修課程修了

到達目標	成績評価の方法・基準
美容師として必要な技術の知識を理解する。	定期試験（7割）
国家試験問題に対して正しく	平常点（3割）・・・授業態度、小テスト、ノート提出
解答できるようになる。	

使用教材・教具	参考文献
教科書、ノート、筆記用具	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容	
1～8	講義	エステティック	エステティックの概論
			皮膚の生理と構造
			カウンセリング
			美容におけるマッサージ理論
			フェイシャルケア技術、デコルテマッサージ
			フェイシャルパック
9～12	講義	ネイル技術	ネイル技術の種類
			爪の構造と機能
			爪のカット形状
			ネイル技術と公衆衛生
			ネイルケア
			アーティフィシャルネイル
			手と足のマッサージ
13～19	講義	メイクアップ	メイクアップ概論
			皮膚の生理と構造
			フェイスプロポーション
			色彩について
			パーソナルカラー
			用具の種類と消毒方法
			メイクアップ
			ブライダルメイクアップ
			肌質別修整メイクアップ一覧表
			まつ毛エクステンション
20～25	講義	日本髪	日本髪の由来
			日本髪の各部の名称
			日本髪の種類と特徴
			日本髪と調和
			日本髪の装飾品
			日本髪の結髪道具
			日本髪の結髪技術
			日本髪の手入れ
			かつら
26～30	講義	着付けの理論と技術	着付けの目的
			礼装
			着物と季節
			着物のいろいろ
			帯
			小物
			着物各部の名称
			着物のたたみ方
			着付けの一般的要領
			留袖着付け技術
			振袖着付け技術
			帯締め、帯揚げの結び方
			男子礼装羽織、袴着付け技術
			羽織のひもの結び方
			女子袴着付け技術
			婚礼着付けの際の注意事項
			和装花嫁
			洋装花嫁

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
運営管理	○		2年	1/30	○					運営管理教員資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験の有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　運営管理研修課程修了

到達目標	成績評価の方法・基準
経営管理及び労務管理の基本的事項を学習することによって、美容業における運営管理手法の重要性を認識させ、美容所の運営に役立させること。また、美容業において、適切な接客態度がいかに重要であるかを自覚させるとともに、消費者対応の基本を学ばせ、実践する能力を身に付けさせる。	定期試験（7割）
	平常点（3割）

使用教材・教具	参考文献
教科書、ノート	
プリント、ワークブック	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1	講義	**第1編　第1章　経営とは・経営者とは**　第1節　経営とは何か　第2節　経営者の責任　第3節　経営の目的
2		第4節　経営戦略①　第5節　経営戦略②　**第2章　理容業・美容業の経営について**　第1節　業界の概要
3		第2節　理容業・美容業を取り巻く社会の変化　第3節　理容業・美容業における競争
4		第4節　競争の未来図　第5節　理容業・美容業の顧客
5		**第3章　資金の管理**　第1節　資金管理の重要性　第2節　収支と損益
6		第3節　会計の考え方　第4節　コストを管理する
7		第5節　税金について　第6節　税金の申告
8		**第2編　第1章　人という資源**　第1節　人という資源とは　第2節　人の能力を高める
9		第3節　人をやる気にさせるために　第4節　給与
10		第5節　待遇・福利厚生　第6節　労働者の権利
11		**第2章　従業員としての視点から**　第1節　社会人としての責任・理容業・美容業の従業員としての責任 第2節　社会保険①　～公的年金～
12		第3節　社会保険②　～医療保険～　第4節　社会保険③　～労働保険～
13		第5節　キャリアプランの重要性　第6節　仕事をするうえで考えるべきこと　**第3章　健康・安全な職場環境の実現** 第１節　健康管理の基礎
14		第2節　理容・美容の仕事と健康
15		第3節　理容業・美容業に特徴的な健康課題
16		第4節　理容・美容の作業環境に関する健康問題
17		**第3編　第1章　サービス・デザイン**　第1節　サービスを考えるうえで重要なこと
18		第2節　サービス・デザインの基本
19		第3節　サービス・システム①　第4節　サービス・システム②
20		第6節　サービスの範囲　第7節　新しいサービスをデザインしてみよう
21		**第2章　サービス・マーケティング**　第1節　理容業・美容業のマーケティング　第2節　マーケティング・リサーチ
22		第3節　サービスの改善　第4節　コスト
23		第5節　コミュニケーション　第6節　コンビニエンス
24		**第3章　サービスにおける人の役割**　第1節　接客についての理解
25		第2節　よい接客のための準備　第3節　接客の要点
26		第4節　接客の実践①　第5節　接客の実践②
27		第6節　接客の実践③　第7節　接客におけるトラブルと対応
28		第8節　接客で発生が予想される問題
29		第9節　問題を深刻化させないための対策・対処
30		過去問を解く、ワークブック

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必修	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
美容実習	○		2年生	14/420			○	有	技術理論教員 資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験有り。公益社団法人日本理容美容教育センター主催　美容実習研修課程修了

到達目標	成績評価の方法・基準
ワインディング、オールウェーブ、レイヤーカットにおいては	前期
国家試験合格レベルに作成できるようになる。	ワインディング、オールウェーブ
その他の技術においては、サロンで応用できるように	ヘッドスパ、セイムレングス
基本の技術を定着させる。	後期
	ワインディング、オールウェーブ
	校内コンテスト、国家試験への取り組み態度
	前期後期ともに各テストを70点満点とし、平常点30点とする。

使用教材・教具	参考文献
ワインディング用具一式、ウェーブ用具一式、カット用具一式	
カラー用具一式、ブロー用具一式、	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1～12	実技	ヘッドスパ
		・手順をしっかり覚える。マッサージによって血行を促進し、皮脂や汚れを浮かせ、毛穴の詰まりを
		解消し、頭皮に栄養を与えるトリートメントを行う。
13～27	実技	カット　（セイムレングス）
		・立ち位置やパネルの引き出し方などを考え、仕上がりを想定しながらカットが
		できるように行う。
28～39	実技	・カラー
		モデルウィッグ、相モデルで行い、カラー剤の発色原理について学ぶ。
40～51	実技	・カット（レイヤー）
		時間内に仕上げるだけでなく、立ち位置やパネルの引き出し方など実際にサロンで
		カットを行うことを想定して行う。
52～156	実技	・オールウェーブ
		25分間で7段構成を作成できるようになる。
		国家試験合格レベルの作品を作れるようになる。
157～261	実技	・ワインディング
		20分間で国家試験合格レベルの作品を作れるようになる。
262～361	実技	・国家試験対策（実技）
		第1課題（レイヤーカット）、第2課題（オールウェーブまたはワインディング）のどちらも
		合格レベルに仕上げるだけでなく、サロンでの施術も想定しながら技術を身につける。
		第2課題については、11月の課題発表後にどちらを行うか決定する。
		・国家試験対策　衛生に関する説明と注意
		衛生面に関する準備や表示の説明と準備を行う。
	実技	・国家試験リハーサル
		本番同様の机を準備し、試験室内への入場から準備、試験、退室までを行い、
		第1課題、第2課題、衛生の審査を行う。
362～420	実技	・国家試験筆記試験対策
		過去問題を解き、訂正まで行う。
		勉強が苦手な人や合格点に届かない人は少人数クラスを編成して集中的に対策を
		行い、その後の点数次第で再編成を週ごとに行う。

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
美容　カウンセリング	○		2年	2/60	○					実務経験者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験の有り。

到達目標	成績評価の方法・基準
・人とのコミュニケーションをどのようにとっていくか。	定期試験（7割）
・サロンにおけるヘア・ケアアドバイスや毛髪の	平常点（3割）
基礎知識を学習	ノート提出
・就職活動の流れとポイントを学習	

使用教材・教具	参考文献
テキスト、ノート、プリント、必要に応じて指示する	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1～3	講義	就活に備えて学習
4	実習	ピアカウセリングの目的
5～7	講義	カウンセリング内容をクライエントの欲求で分ける
	講義	コンサルティングとは
	講義	コーチングとは
	講義	心理カウンセリングとは
8～15	講義	個人情報の保護
	講義	心の仕組みと働き
	講義	コミュニケーションとストレスの関係
	実習	カウンセリングのプロセス
	講義	3つの相談方法
16～25	実習	ロープレーによる傾聴訓練
	実習	エンカウンターグループ
	実習	スキルアップ訓練
	講義	職場で起こるトラブル対応の訓練
26～28	講義	4つノメンタルヘルスケア
	講義	ストレス管理
	講義	ストレッサーとストレス反応
	講義	カウセリングは重要な職場のシステム
28～32	講義	毛髪・皮膚コンサルティン
	講義	美容室でのコンサルティングの必要性
	実習	コンサルティング正しく行うために
	実習	コンサルティングを行う際の態度
	講義	サロン繁栄のためのコンサルティング
33～35	講義	機器診断と触診
	講義	毛質(髪質)のついて
36～39	講義	顧客の希望の確認
	講義	断毛と脱毛
	講義	頭皮の確認
	講義	薬液の選定と施術料の提示
40～43	講義	ヘアカラー製品の選定
	講義、実習	酸化染毛剤のパッチテスト
	講義	パッチテストで異常を生じた際の対応と染毛料の使用
	講義	染め上がりの色と退色
	講義	染毛剤使用上の注意につ
44～49	講義	シャンプー
	講義	ヘアトリートメント
	講義	施術後のヘアデザイン
	講義	ヘアカット
	講義	ヘアスタイリング剤
	講義	ヘナ製品
50～60	講義	化粧品の使用上の注意と使用方法
	講義	毛髪の痛みの原因につい
	講義	化粧品、医薬部外品についての正しい知識

長崎県美容専門学校　令和8年度　授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	単位/時間数	講義	演習	実習	実験	実技	担当教員名
総合技術	○		2年	8/240			○			技術理論教員資格取得者

実務の有無	実務経験の詳細・教育の内容等
有	美容所にて実務経験の有り。 公益社団法人日本理容美容教育センター主催　美容技術理論・美容実習研修課程修了

到達目標	成績評価の方法・基準
・ヘアーショーやガイダンス、モデル実習などを通して実践的な美容の技術を身に付ける。	前期　ヘアーショーへの取り組み（50%）
・一人ひとり異なる身体や心の特徴、状態を踏まえながら、化粧品や関連機器、器具さらにエステテック技術、カウンセリングを駆使して、お客様の心に満足とやすらぎを与えるとともに、肌や身体を健康的で美しい状態に保持、保護する方法を習得する。	モデル実習（50%）
	後期　インターンシップ（50%）　モデル実習（50%）
・美容師国家試験の実技試験、筆記試験の両方ともに合格できるようになること。	実技試験、筆記試験

使用教材・教具	参考文献
エステテックFUKUSHO教本　エステティック器具　機械 化粧品　コットン　精製水　ティッシュ	エステテックFUKUSHO　FACIAL BASIC　THEORY エステテックFUKUSHO　FACIAL BASIC　TECHNIQUE
・国家試験課題で必要な用具　・筆記用具 （レイヤーカット一式・ワンディングもしくはオールウェーブ一式）	

授　業　計　画

時間	授業方法	学修内容
1～69	実技	・ヘアショー準備、ヘアショー 本番に向けて、1年生と協力しながら月に1回から2回話し合いと準備を行う。
70～99	講義	エステテック概論　エステティック業と法律
	演習実技	ベット、ワゴンセッティング・ベットご案内・ドレーピング・ターバン
	講義	エステテックカウンセリングの意味と目的、スキンチェック
	演習実技	相モデル　セッティング　サブテクニック復習　スキンチェック
	講義	肌質について・皮膚トラブルについて
	演習実技	セッティング
	講義	エステティック機器学　スチーム　アイオニック　ピーリング　キッシング　パター
	実技	エステティック機器学　クール＆ウォーム　スプレー
	実技	中間テスト　筆記試験
	実技	〃　実技試験
	講義	フェイシャルトリートメント総論
	演習実技	フェイシャルトリートメント（クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック）
	実技	フェイシャルトリートメント（クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック）
	実技	フェイシャルトリートメント（クレンジング、スキンチェック、機器、トリートメント、パック）
	講義実技	総合試験　筆記試験　実技試験
100～120	講義実技	・特別授業（BAP） 美容師の方に来校していただき、実践的な技術を学ぶ ・就職ガイダンス 卒業後の進路決定のために、様々な企業の方から説明会を受ける。
121～180	実技	・インターンシップ 実際のサロンワークを通して、美容の仕事について改めて学び、今後の学校生活と就職活動や就職後に活かしていく。また、インターンシップ終了後はお世話になったオーナーやスタッフの方へのお礼状を作成する。（感謝の気持ちとお礼、インターンシップの内容に関する感想とそこから発展した今後の目標や抱負などを正しい敬語を使って作成する。）
181～195	実技	・BAP 進路に向けて様々なサロンの説明をオンラインで聞くことで就職活動に役立てる。 実際にサロンで活躍している美容師の方々に技術を教わり、実践的な技術習得を行う。 ・モデル実習（保護者感謝デー） 家族に学校へ来ていただき、今までに学んだ技術を応用して施術を行う。
196～240	講義	・国家試験筆記試験対策 過去問題を2年分ずつ解き、訂正まで行う。 勉強が苦手な人や合格点に届かない人は少人数クラスを編成して集中的に対策を行い、その後の点数次第で再編成を週ごとに行う。